

栄養士



山本 千恵美

健康づくり課 感染症対策係

平成25年度 入庁

平成25年度～ 健康づくり政策課健康支援1係

平成27年度～ 健康づくり課地域健康推進係

令和3年度～ 現所属

現在の業務内容について

現在、管理栄養士が配属される部署は、健康づくり課とおいしい給食課の2つがあります。

健康づくり課では、「食」通じて子どもから高齢者まで幅広く市民の皆さんの健康づくりのお手伝いをしています。業務内容は、離乳食教室や乳幼児健診・相談での食育の講話や個別相談、幼稚園・保育園、小学校に出向き、作法（お箸の持ち方）講座や食育講座（クッキングや講話）を実施しています。また、市内14コミュニティセンターで定期的に「ふくろい健康保健室」という健康教室を企画、開催しています。管理栄養士として「食」についてはもちろん、運動や認知症予防など様々な健康づくりの情報も発信しています。

職場の雰囲気について

健康づくり課には6人、おいしい給食課には3人の管理栄養士が在籍しています。仕事をする上で時には行き詰ってしまうことや、うまくいかず力不足を感じることもありますが、同じ職種の仲間がいることで意見交換や相談もしやすく、とても心強く感じています。また、健康づくり課には、保健師や事務職員などの多くの職員が働いているので、新たな視点でアドバイスをもらうことができるなど良い刺激をもらっています。

仕事のやりがい（働くことの魅力）について、受験者へのメッセージ

行政として欠かせないデスクワークもありますが、それ以上に市民の皆さんと直接触れ合う機会も多く、生の声を聞くことができます。その中で、市民の方から「参考になりました、ありがとう」「今日教えてもらったレシピ、家族や知り合いにもおすすめしておくね」「これなら簡単だから、これから毎日続けてみようかな」などの言葉をもらったときにやりがいを感じるとともに、日々のモチベーションにも繋がっています。行政の栄養士といっても配属される部署や同じ部署内でも担当業務が変わりますが、管理栄養士の専門知識を生かしつつ、様々な現場で経験を重ねることで自分を大きく成長させてくれる職場です。

袋井市の管理栄養士として、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。